
はじめましての野望

HMC会長

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

はじめましての野望

【Nコード】

N42440

【作者名】

HMC会長

【あらすじ】

ちよつと変な男が戦国時代に転生してワガママに好きように生きていく物語

この男から歴史は狂いだす…のかどうかはまだ不明！！

プロローグ（前書き）

初めての小説ですので誤字、脱字、があるかも知れませんので生易しい目で見てください

プロローグ

「今日から俺はやってやる!!」

はじめましての

野望

オッス！俺の名前は鶴松。今年で体は3歳（心は23歳）の男に
よこだ!!

俺はここ尾張の守護代家臣であられる、織田信秀様の城でもある
那古野城・・・の周りである農家の3男として天文5年（1534
年）に生をうけた。

それはそれは、カッコいいベイビーだった・・・ハズである。
なにせ産まれて初めての言葉が「なんじゃこれ!!??」だか
らね。

松田○作様の名シーンを知ってる奴がいればスタンディングオベ
レーションをぶちかましてくる位のできだった。

まあ正確には「おんぎゃああああ!!」なんだけど。

そりゃまあ、トラックに引かれるってテンプレだったのはわかる
けど、引かれていきなり赤子になってたら誰だってこうなるよ。

ほんと、あの時は混乱したなあ。今となっちはいい思い出だけ
まあ、色々ショックもあったけど、前世に未練なんかたいしてな
かったから、ここで新しい人生もいいなあゝなんて思ってたんだけ
ど、甘かった!!

農家マジ半端ない!! 機械の有能さを改めておもしろかったよ。も

うね、見てるだけで嫌になる！！絶対おれは農家になんかならんね。
俺のつまんない人生はおいといて、

一番近くの城の那古野城の城主に2歳の吉法師ってガキがついたらしい。

俺はそれを聞いた瞬間、これだ！！これしかないって思ったね。
さて、運命（農家）からのがれるためにあがいてみようかな。

プロローグ（後書き）

読んでいただきありがとうございます。早めの更新を心がけていますのでよろしくおねがいします。

第一話（前書き）

誤字、脱字多く時代考証もあまいですが、よろしくお願いします。

第一話

マジ暴れん坊だわWWW

これが初めて俺が吉法師様に抱いた気持ちだった。だって、ホントにむちゃくちゃなんですよ、この子ったら。

今、吉法師様は5歳となり城主ではあるけど、名前だけであり実質は信秀様預りとなっていた。

なので、その間吉法師様は寺に預けられてるんだけど、そこでもう…色々よね。ヤバイですよ。

ホントにもう大変なんだわ。ちょっと気に入らなければ暴れるし、物は壊すし、住職相手にむちゃくちゃな問答するしね。

しかも、俺が吉法師様の教育役というか、止め役というか、責任役というか、まあ年上なんでお世話見てやれてきなかんじですよ。

まあ、これを見越して家を出てきたわけですけどね。笑

と、かるく現実逃避をしていると、

「つるゝ！どこじゃゝ！はよくでてこんか！」

声変わり前の子供特有の、しかし確かに怒気をはわした声が寺に響いた。

ってヤベ！？なんかイライラしてる！？

「はいゝ吉法師様ゝなんでございましょうかゝ」

と、返事を返しながら声の聞こえきた入り口にむかって足を進めた。そこにはいつも通り、大名の息子とは思えないラフな格好をした、目付きの鋭い吉法師様がたっておられた。

「つる！！はよこんか！！今日は津島に行く！！」

やっぱりいつものむちゃくちゃな命令だわ…

「今からですか！？今から出ては今日中にはかえれません！」

「だで、どこぞでよをこせばええわ！！」

ホントにこのリトルジャイアンは！！と思っけていても逆らえんのよね。

「はあ：わかりました：。準備してきますので少々お待ちくださいね。」

「遅いのは誰でもできるでや！！はよくせい」

と、その声を背にしながら住職に報告しにいくのだった。

「津島」

ここは元々堺のような自治都市だったのだが、信秀様のお父様がジャイアンぶりを發揮して自分の物にした土地であり、又織田家の躍進に非常に重要な土地でもある。

ただ、いくら織田の土地とはいえここの金持ち連中には信秀様すら頭をさげる奴がいるのだから粗相はおこせんのだが、おとなしくしてくれるかなこのRJは：
リトルジャイアン

「ここが津島かや、熱気がスゴいの！」

「はい。吉法師様ここの港には色々なものが持つてこられるのでそれを売るものや、買うもの、その人たちが出している熱気でしょう。」

「つるはよう知つとるの！来たことはあるんか？」

「いえ、聞きかじっただけです！」

と、会話しているが吉法師様の目線は落ち着きなくキョロキョロしていた。

「つるこれは！？これは！？これは！？知らんもんがいっぱいじゃの！」

「そうですか：それはよかったですね！」

「なんじゃ、つる元気がないの！」

「いえいえ、これでも楽しいですよ。」

でも、確かにこのRJについていくのは非常に疲れるのだよね。
もう、あちこち動き回るわ、面白いもんがあればずっといるしね。
まあ、こういう子供らしい吉法師様は珍しし可愛いからいいんだけどね。

順調に信長にたいして忠誠心（ブラコン？）を高めていく鶴松でした。

第一話（後書き）

更新遅れまくってごめんなさい。

そして、こんなつたない小説に感想いただきありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4244o/>

はじめましての野望

2010年12月30日22時40分発行